



上毛電化株式会社

J o m o E l e c t r o c h e m i c a l

2018年度 環境活動レポート

(2018年5月~2019年4月 実施)

環境方針

1. 事業内容
2. 主な環境負荷の実績
3. 環境目標及びその実績
4. 環境活動の取り組み評価
5. 代表者による全体の評価と見直し
6. 環境関連法案への違反・訴訟等の有無
7. 環境情報の開示



®環境省

エコアクション21
認証番号 0011557

発行 2019年 5月 10日

改訂 2019年 6月 8日

環 境 方 針

上毛電化株式会社は地球環境との調和を図り、積極的に環境負荷の削減に努めることで、企業としての社会的な責任、使命を果たすことをここに宣言し、以下の環境方針を定めます

- 1、 環境保全に関する法令等を遵守します。
- 2、 環境負担の低減・環境汚染の予防に努めます。
- 3、 環境管理のPDCAサイクルを確立・運用し、継続的な改善及び汚染の予防を図ることで、環境負担を低減します。
- 4、 この環境方針は全従業員に周知徹底します。
- 5、 この環境方針は内外に公表し、要求があったときはいつでも公開します。

2018年 12月 15日

上毛電化株式会
代表取締役 堀口 研



事業内容

1. 事業所名 上毛電化株式会社
2. 代表者氏名 堀口 研一
3. 所在地 群馬県藤岡市三ツ木 336-6
4. 環境管理責任者および連絡先
 - 責任者 清水 由紀夫
 - 連絡先 TEL 0274-24-3228
 - FAX 0274-24-4841
 - E-MAIL y-shimizu@abeam.ocn.ne.jp
5. 事業活動の内容

顧客より支給された金属加工部品に表面処理を施した後、顧客へ納品する。

アルマイト処理（陽極酸化処理）

 - ・普通アルマイト（染色、光輝、艶消）・硬質アルマイト・潤滑アルマイト

アルミ化成処理（アロジン代替、クロムフリー）

 - ・パルコート・マクダーミッド

鉄鋼化成処理（黒染め、四三酸化鉄、パーカー）

含浸処理

真鍮化成処理、真鍮化学研磨、バレル研磨（バリ除去、光沢）、ショットブラスト、バフ研磨、各種表面処理
6. 事業の規模
 - 資本金 1,500万円
 - 従業員数 43名
 - 床面積 1500㎡
7. 認証・登録の範囲

上記 所在地及び事業内容に準ずる。全組織・全活動

8. 会社沿革

- 1981年 資本金 1,500 万円にて営業開始本社・工場を群馬県高崎市江木町とする
- 1987年 本社・工場を群馬県藤岡市に移転
- 1996年 鉄鋼黒染め（四三酸化鉄被膜）処理ラインを設置
- 2002年 硬質アルマイト処理ラインを設置
- 2005年 アルマイトラインを全面リニューアル処理能力の増強及び環境対応を図る
- 2008年 ISO9001 認証取得
- 2015年 含浸処理ラインを設置
- 2016年 全自動アルマイト処理装置を新設
- 2016年 エコアクション21 認証・登録
- 2017年～ 環境活動 継続中



主な環境負荷の実績

項目	単位	2017年度	2018年度	
二酸化炭素排出量 (対象：エネルギー総量)	kg-CO ₂ /年	703,892	700,939	0.42%減
廃棄物排出量	kg / 年	52,090	71,956	38.1%増
一般廃棄物排出量	kg / 年	4,165	2,920	-
総排水量	m ³ / 年	25,121	30,254	20.4%増
化学物質使用量	kg / 年	658.9	227.8	-
原単位 (CO ₂ 総排出量)	kg-CO ₂ /売上(百万円)	2,199.7	1,947.0	11.5%

環境目標及びその実績

項目		年度		2018年度	
		2016年度	(比較値)	(目標)	(実績)
電力の二酸化炭素 排出量削減	kg-CO2 /売上(百万)	607.9	-1%	568.7	-6.5%
ガソリンの二酸化 炭素排出量削減	kg-CO2 /売上(百万)	54.9	-0.3%	47.8	-14.8%
軽油の二酸化炭素 排出量削減	kg-CO2 /売上(百万)	191.6	-0.3%	183.4	-4.5%
LPGの二酸化炭素 排出量削減	kg-CO2 /売上(百万)	1209.1	-0.3%	1092.5	-10.6%
二酸化炭素 排出量合計	kg-CO2 /売上(百万)	2136.7	-0.3%	1947.0	-9.7%
一般廃棄物の削減	kg/売上(百万)	4.9	-1%	8.1	39.5%
産業廃棄物の削減	kg/売上(百万)	222.8	-1%	199.8	-11.5%
節水	m ³ /売上(百万)	60.8	-0.5%	84.0	38.1%
化学物質使用量の 適正管理	(kg/年)	152.6	生産量 適正值	227.8	適正
本業に対する目標	自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関しては、 上記主要項目が直接関係しており、化学物質を適正に管理すること 不適合製品の削減を活動の目標としています。				

※電力排出係数は 0.401 (kg-CO2/kWh) 2017年度日本テクノ様の数値を用いて算定しています。

※原単位は kg-CO2/売上額百万円にて算出しています。

環境活動の取り組み評価

取り組み計画	評価	評価（結果と今後の方向）
電力の削減		6.5%の削減
・冷暖房の控えめな使用 (冷房28℃ 暖房20℃)	◎	冷暖房温度の控えめ使用も効果が高い 照明のLED化を図ったのも効果○。 生産量は増加しているのに削減できた のは他の細かい節電が出来ていると思 います。更なる効率化に全員で取組 み、ムリ・ムダ・ムラの撲滅を！
・生産設備の効率化	◎	
・圧縮空気の洩れ防止	○	
・照明のLED化	◎	
ガソリン・軽油使用量の削減		19.3%削減
・エコドライブ 運動展開	◎	エコドライブについてはほぼ定着 したとみていい。 ルートを選定や効率を図りムダも 軽減した。 継続をお願いします。
・アイドリングストップ	○	
・急加速の抑制	◎	
・冷房の控えめ使用	○	
・買換え時は燃費マークを優先す る	—	
LPG 使用量の削減		10.6%削減
・保温断熱の励行	○	温調器設置の効果が見える。 生産効率化も身についてきた？
・ムダな加温撲滅	○	
産業廃棄物の削減		26.9%の削減
・工程ロスの削減	△	主だっているアルミスラッジは生 産量に比例観察を続ける
・簡易方法の検討	△	
・分別の徹底による有価物化	○	
節水		38.1%増加
・洗浄工程の改善	○	生産量増加の影響と思われるが それだけとは言えない増加率 意識付けの為に使用量の揭示
・手洗い水量の適正化	○	
化学物質の適正管理	○	SDS により適正管理

※RoHS 該当化学物質の加工は今期もしていない

次年度の環境活動

大きく目標を達成できた。周知がうまくいっているように思える。前年の目標でもあった LPG の使用量は、高効率ボイラーの設置によりかなり抑えられていると思う。ムダ焚きを減らせるよう作業効率化を目指す。社内全体で意見交換を行い、効率化を図りムリ・ムダ・ムラを極力減らすことが出来れば、より CO2 削減に至ると思われる。グリーンカーテンの設置や遮光断熱の見直し等を推進しつつ効果が高かった活動を継続的に進めていきたい。

代表者による全体の評価と見直し

生産数増加の中、CO2 削減が大きく達成できたことをうれしく思います。しかしながら、水の使用量が増加率よりも大幅に増えている。締め忘れのムダ等、注意しながら節水を強化したいと思う。配管の見直しを含め、工場長・管理責任者の指示で協力してください。「年間 5%以上の削減」を目標に「ムリ、ムダ、ムラをなくす」「継続的なムリのない取り組み」を責任者のもと進めてください。

環境関連法案への違反・訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。関係当局よりの違反などの指摘は過去 3 年間なく、創業以来継続しています。

法規制・条令	適用される施設・物質	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物	○
水質汚濁法	排水処理設備	○
毒物及び劇物取締法	薬品類	○
特定化学物質管理法	届出対象外、定期的に確認	○
PRTR 法	指定化学物質の排出量等の把握	○
消防法	消防用設備	○
労働安全衛生法	管理者の選任、健康診断の実施	○
群馬県の生活環境を保全する条例	排水処理設備	○

環境情報の開示

上毛電化株式会社の事務所、
またはホームページ <http://www.alumite.jp> にて開示している。